

[pdf-4]

講演題目：理科教科書と科学読物をつくるー幼児期から大人までを俯瞰して
講演概要：

私の活動の根幹にあるのは教👉的視点、まさに人を「つくる」ことに長らく関わろうとしてきました。1つ目として教👉の始まりの場である幼稚園で、幼児の科学の芽を👉む活動を展開。幼児と保護者双方向の新聞の発行や、科学あそびの講座など、多角的なアプローチで「理科」の前段階をつくろうと試みてきました。2つ目には執筆委員としての教科書作成。40年近く小学校生活科、小学校理科、中学校科学、高校物理と広い範囲の教科書に関わったのは幸運でした。3つ目として、上智の同窓生である共著者とともに幼児向けの絵本から、子どものための科学の本、一般向けの科学読み物まで、異なる年代に適した作品を数多く生み出してきました。

そのような全般の話に加え、特に、学生が今まで無意識に手にしてきた教科書がどのようにできてくるかを通して、執筆委員である専門教員の仕事、出版社の編集や営業の役割、文科省の存在意義などを紹介し、一つの「つくる」行為が多様な立場の関わりで成り立っていること知ってもらいたいと思います。さらに、幅広い活動における様々な形の「つくる」話の中から、「もし自分が関わるならこんな立ち位置ならできる」という、自身の興味や特性を再認識する機会にして欲しいと思っています。

講師：結城千代子（ママとサイエンス代表・上智大学理工学部非常勤講師）

講師プロフィール：1982年上智大学理工学部物理学科卒業、1984年国際基督教大学大学院博士前期課程理科教👉法修了 修士（教👉学）。中学・高校・大学に於ける物理の教員、幼稚園長などをはじめとして、執筆、主催、経営等様々な仕事を経験した。

絵本に「くつつくふしぎ」（福音館書店）「みいちゃん、どこまではやくはしれるの」（フレーベル館）小学生向け図書に「科学のタネをそだてよう ①『蛇口に見えるシッポのなぞ』（少年写真新聞社）「思考理科 なぜ？からはじめよう SDGs」全4巻（東京書籍）中学生以上に「人物で読み解くブツリ」（朝日新聞出版）「ワンダーラボラトリシリーズ」全4巻（太郎次郎エディタス）「道具のブツリ」（雷鳥社）他多数。ふしぎ新聞 HP…



<http://science-with-mama.com/>, ノート…note.com/wonlab, Instagram…
[@daily_science_76](https://twitter.com/daily_science_76), [@wonlab_osanpo](https://twitter.com/wonlab_osanpo)などを展開している。